

民主党に裏切られ もう自民党にはもどりたくない どうするこの日本

# 日本改革のビジョンをしめし **日本共産党**

## みなさんとともに行動します



党道政策委員長  
はたやま和也

民主党が政権について3年余り。あらゆる公約が投げ捨てられ、国民の期待は裏切られました。自民党は民主党との「違い」を出すために憲法9条の改悪など、危険な方向に突き進んでいます。

政治と社会の行きづまりのおおもとにある「アメリカ・財界いいなり」を断ち切り、どの問題でも国民が主人公の旗をかかげているのが日本共産党です。

### ビジョン1 原発

## 北海道でこそ自然エネルギー広げて 即時原発ゼロへ

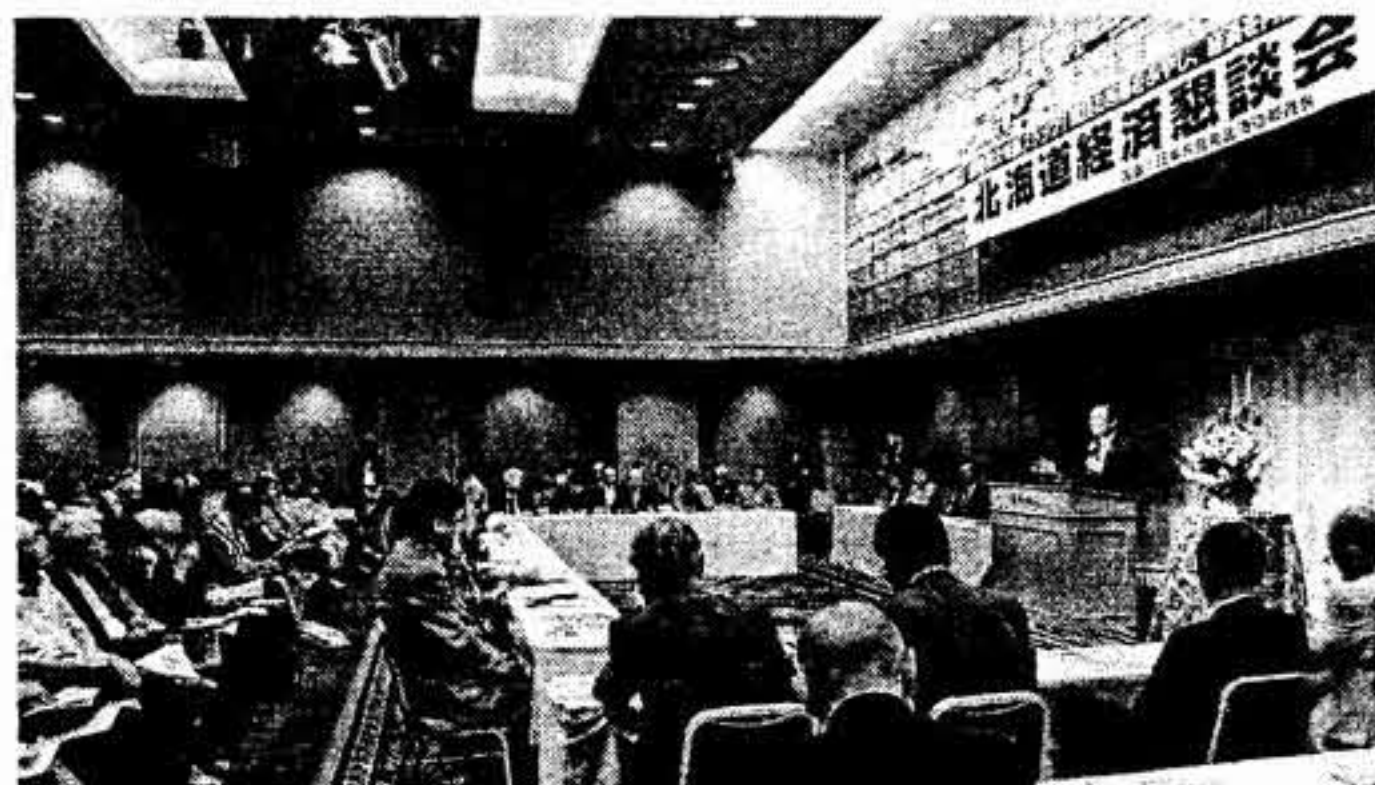
政府がおこなった意見公募では、8割が「即時原発ゼロ」。  
北海道でも、12,000人もの集会が開かれました。国民の意思は明白です。泊原発なしでも、道民の努力で電力不足は起きていません。自然エネルギーの可能性も道内電力使用量の約10倍あります(札幌市調べ)。札幌市議会では、民主・自民・公明の反対で、「泊原発の再稼働反対」の意見書が否決されました。道民の願いに反するものです。

①泊原発は廃炉に、②大間原発の建設中止、③自然エネルギーを広げるために、日本共産党はがんばります。



### ビジョン2 経済

## 市民のふところあたたため、増税は富裕層から 消費税に頼らない別の道へ



北海道の「経済・産業提言」を発表しました。ホームページをご覧ください。ホームページ <http://www.jcp-hokkaido.jp/>

国の財政が悪化したのは、富裕層・大企業に減税し、ムダな大型開発や軍事費を増やしたため。医療や介護の負担を増やし、消費税10%では、市民のくらしも経済も成り立ちません。

①ムダ削減や富裕層、大企業へ応分の負担、②雇用の確保や中小企業を応援し、市民のふところをあたたためて税収を伸ばす——特に、北海道では農林漁業と、自然エネルギーの応援がカギです。

増税の実施は2014年4月—大増税中止に追い込もう  
増税実施までには、衆院選、参院選があります。民・自・公の増税連合に「増税ノー」の審判をくだし、実施中止に追い込みましょう。

### ビジョン3 外交

## 農業と医療、雇用を破壊するTPP反対——アメリカいいなりから 安保なくし対等の日米関係へ

道内の雇用が17万人失われ、農家戸数が3万戸減少、地域経済への影響が2兆1千億円以上——TPP参加は北海道経済を沈没させる事態に。

日本共産党は立場の違いをこえて、JA(農協)や医師会、森林組合などと共同し、TPP交渉参加に反対する運動を広げています。

憲法9条生かした「平和の発信地」に——基地のない平和な日本・北海道を



2012年11・12月号外  
発行所/ほっかい新報社 〒060-0808 札幌市北区北6条西7丁目  
電話(011)726-1838 (昭和10年8月10日第三種郵便物認可)  
日本共産党北海道委員会の政策を紹介します。

ご意見をお寄せください。日本共産党北海道委員会 TEL 011-746-1151